

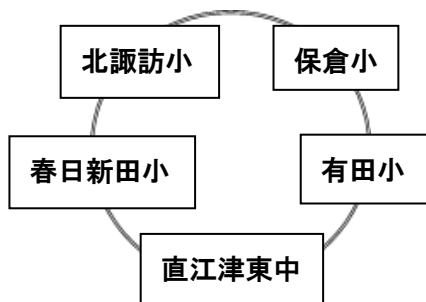
地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和4年度 第2号
令和4年6月25日発行
< 発行・編集 >
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL 025-543-2729
FAX 025-543-4150
E-mail: higashi-cs@jorne.or.jp

「すこやかネットワーク」とは？



直江津東中学校区には左図のように5つの学校があり、この5校が一つになって「直東学園」がつくられています。さらに、学園内5校の教職員が課題解決や学び合いに向けて、力を合わせるために作られた連携組織が「すこやかネットワーク」です。今回は、各部会の活動を中心にすこやかネットワークについて紹介します。

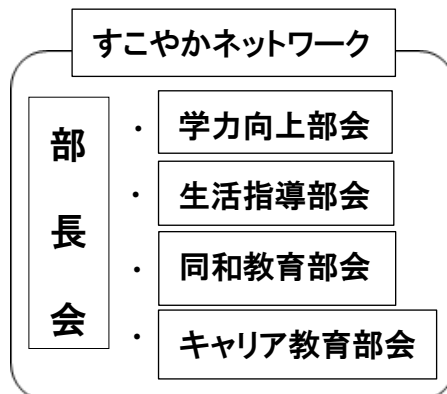
すこやかネットワーク部会全体の取組

1 すこやかネットワークの目指すもの

直江津東中学校区の子どもたちが小中学校9年間を通じて学び、成長していく上で、各小学校と中学校がばらばらに取り組んでいては効果的ではありません。そこで、小中学校の教職員が同じ目標の下、力を合わせて教育活動に取り組んでいくための組織が「すこやかネットワーク」です。これにより、小学校間及び小中学校間の連携を推進し、小中一貫した切れ目のない教育を目指します。

2 すこやかネットワークの組織

小中5校の教職員が右の4つの部会に分かれて活動しています。また、小学校4校の校長・教頭が各部の部長・副部長を担当し、年間を通して活動を計画的に推進しています。さらに、部長が集まる部長会を毎月開き、全体の活動がスムーズに進められるようにしています。



3 地域との連携

すこやかネットワークは学校間の連携組織としてスタートしましたが、さらにその後発足した直東学園運営協議会や直江津東地域青少年育成会議と連携することにより、地域の皆さんからの多くの支援を受け、より充実した活動ができるようになりました。

キャリア教育部会の取組

キャリア教育を中核にした小中一貫教育の推進は直東学園の重点目標です。

直東学園5校ともに特色ある教育活動としてキャリア教育を大切にします。生活科・総合的な学習の時間を核に、教育活動全体を通して地域に根差した教育を推進します。

1 学校間連携の促進

・キャリア教育で育む資質・能力は次の5点。

- ① 人間関係形成力
- ② 自己理解・自己管理能力
- ③ 課題対応能力
- ④ キャリアプランニング能力
- ⑤ 郷土愛（⇒新潟県として強調）

これらの力を発達段階に応じてさらに具体的にし、共通の育てたい資質・能力として取組を進めています。

- ・各校のカリキュラムを集約・比較検討し、学校間連携による単元づくりを進めます。
- ・4小学校の児童が交流し学び合う、「マスコミ学習」（5年）等を行います。



【5年「マスコミ学習」R3.12.6】

2 郷土愛の育成を目指した活動の推進

- ・学園支援本部の協力を得ながら、郷土愛の育成を重点取組とした単元構成や授業を実践していきます。
- ・実践記録シートをもとに、学校間で情報交換を進めます。

3 多面的な評価と改善

- ・キャリア教育の観点による教職員評価を実施し、児童生徒、保護者、学校運営協議会委員などの意見を参考に、よりよいカリキュラムや授業実践になるように改善を図ります。

4 キャリア・パスポートの活用と改善

- ・教職員や保護者への周知と、実践を通して取組方を改善していきます。

生徒指導部会の取組

多様性の時代。見方や考え方が異なる他者とよりよい関係を築きながら、自分の個性を存分に発揮して生きていく力が求められています。

相手を尊重した人間関係づくり、人間関係調整能力等を学ぶとともに、共によりよく生活するための規範意識を高めるために、今年度も以下の3点に取り組みます。

1 リーダーシップ・フォロワーシップの育成

各学校の規模や実態に合わせ、集団の中でリーダー、フォロワーとしての役割を果たし解決する活動に取り組みます。小学校では縦割り班活動や集会活動、中学校では生徒会活動や学年活動の充実を図ります。

2 小中5校の一層の連携と切れ目のない指導

定期的に担当者が集まり、子どものことについて情報共有し、協力し合って指導します。また、「直江津東中学校区生活のきまり」の定着も図ります。

3 「いじめ見逃しゼロスクール集会」の充実

集会を通して一人一人が「いじめを絶対にしない、見逃さない」意識を高めることを目指します。今年度は、11月22日（火）に開催する予定です。集会には、小学校6年生と中学校1年生が参加します。



【令和3年度 いじめ見逃しゼロスクール集会】

学力向上部会の取組

小中学校 9年間を見通して一貫した学びを念頭に置き、確かな学力を育成します。

1 授業力の向上

(1) 学力向上研修会：6月6日（月）

学力向上の土台として安全・安心な児童生徒同士の関係性が重要であるとの認識から「集団づくりからの学力（資質・能力）向上」について上教大の赤坂真二教授からオンラインでのご講演をいただきました。



【北諏訪小でのオンライン研修の様子】

(2) 学校間授業研究交流会：9月30日（金）

今年度は保倉小学校及び北諏訪小学校で実施します。

2 全国学力学習状況調査及びNRTの結果分析と課題の明確化、共有化

各校の成果と課題を分析し、各校の学力向上取組を共有します。

3 家庭学習の充実

(1) 「学年×10分」の徹底

(2) 「家庭学習の手引き」などの活用

(3) スタディ&アウトメディアウイークの実施

4 規律のある落ち着いた学習習慣づくり

新しい「学習の約束」を基にして各校で学習に取り組む姿勢を育てます。

5 タブレットの使い方のきまりを共通化

どの学校でも同じきまりにすることで使い方を共通にします。

6 6年生児童の春休み課題の統一と中学校での課題確認

共通課題を中学校に提出し、新1年生の学習状況を知る上での参考とします。

同和教育部会の取組

近年、SNS上での差別や偏見、誹謗中傷が大きな問題になっています。児童生徒が、これから様々な場面で直面する差別事象に対して、「間違っている」「差別や偏見は許せない」という正しい判断ができる知識と実践行動力を身に付けることが求められます。研修主題を「日常生活の中にある差別に気付き、差別をなくすために行動しようとする子どもの育成」に設定し、主に次の活動に取り組めます。

1 教職員が差別の現実を知り、人権感覚を研ぎ澄ますための研修の実施

同和教育の授業力向上は、教師自身が差別の現実を知り、差別に憤り、人権感覚を研ぎ澄ますことから始まります。そ



【令和3年度 同和教育研修会】
ここで、各校で現地学習会や講演会、研修会を実施し、授業実践に生かしていきます。

2 差別と向き合い、自分の生き方を見つめ直す講演会の開催

11月7日に、4小学校の6年生全員を対象に、徳島県人権エンタメ集団「友輝」リーダーの中倉茂樹



【令和3年度 中倉さん講演会】
さんを講師にお招きした講演会を実施します。本気で語りかけてくださる中倉さんの講演は、児童が自分の生き方を見つめ直す機会になると思います。

3 家庭、地域と連携した取組の推進

実践行動力に結び付く人権感覚を育むためには、学校と家庭、地域が、同一步調で取り組むことが必要です。教職員、



【令和3年度 PTA主催の講演会】
保護者、地域の皆様とともに学ぶ場を大切に、地域全体で人権感覚を高めていきます。

春のあいさつ運動ありがとうございました。

4月7日（木）～15日（金）に実施したあいさつ運動は、コロナ禍のため、感染症対策を最優先に行いました。町内会役員、交通安全協会、民生委員・児童委員、PTA、地域の皆様からアンケートに回答していただいた結果です。

毎年多くの皆様からご協力いただきありがとうございます。

（ ）は昨年度のアンケート結果です。

1 立哨中に会った大人の方とあいさつを交わしましたか。

ア 交わした	イ 交わしたり交わさなかったりした	ウ 交わさなかった	無回答
79% (87%)	18% (13%)	3% (0%)	0% (0%)

2 立哨中に児童生徒に自分のほうからあいさつをしましたか。

ア 自分から先にした	イ 自分からしたり相手が先にしたりした	ウ 交わさなかった	無回答
44% (57%)	53% (40%)	3% (3%)	0% (0%)

3 期間中家庭内であいさつをしましたか。

ア 自分から先にした	イ 自分からしたり相手が先にしたりした	ウ 交わさなかった	無回答
32% (47%)	65% (53%)	3% (0%)	0% (0%)

町内会役員の方より「あいさつ運動終了後も通常の生活の中でもお互いにあいさつし合える様な環境作りをしていくつもりです」との感想をいただきました。

上越市地域活動支援事業が採択されました。

令和4年度の直東学園の上越市地域活動支援事業への提案は2つです。保倉区、北諏訪区、有田区の3つの地域協議会にまたがる提案です。

一つ目は、「直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業」です。地域として学校を応援する手引きとなる「学園要覧」や令和5年度小学校新入生用の「教育ハンドブック」を作成します。

二つ目は、「直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業」です。児童生徒の夢や希望の実現に向けたキャリア教育の様々な活動を支援します。

児童生徒は、主に次の4つの活動を行います。

- (1) 学園共通活動：妙高自然の家で自然体験や遠足での「仲間づくり活動」、講師を招いた「人権教育、同和教育活動」等
- (2) 4小学校共通活動：「マスコミに学ぶ」、「1/2成人式」（仮称）
- (3) 小学校の特色に応じた活動：地域の方と関わり合いながら体験する「地域の人に学ぶ」等
- (4) 中学校独自の活動：卒業生から職業や生きがいについて学ぶ「ようこそ先輩」、「立志式」

事業費は、「直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業」は48万8千円、「直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業」は434万3千円で申請をしました。

5月23日（月）有田区、5月25日（水）保倉区、6月9日（木）北諏訪区、でのヒアリングに出席し、それぞれの協議会でいずれの事業も採択されました。

お知らせ 第1号で掲載した直東学園運営協議会の内容については、書面議決の結果、承認されました。1年間よろしくお祈いします。